

# 第1章 生物多様性かつしか戦略とは

～未来の子どもたちのために～

## 1 生物多様性を知っていますか

### 生物多様性とは

昔からその土地にいた様々な生きものが、多様な環境の中でお互いにかかわりあって生きていることを「生物多様性」と言います。生物多様性には、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルがあります。これら生物多様性を保全するためには、3つのレベルで保全していくことが重要です。

#### <生物多様性の3つのレベル>

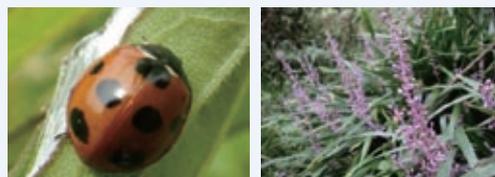
##### ①生態系の多様性

河川、池沼、樹林、草地など様々なタイプの自然があることです。



##### ②種の多様性

動植物から細菌などの微生物にいたるまで、様々な種類の生きものが生息・生育している状況のことです。



##### ③遺伝子の多様性

同じ種でも遺伝子の違いによって、個体の形や模様などの違いがあり、様々な個性があることです。例えば、アサリの貝殻の模様が千差万別であるなどが挙げられます。



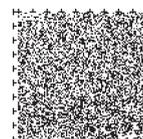
### たくさんの生きものがいれば良いのか

ただ、たくさんの生きものがいれば良いというわけではありません。生きものの種は、長い年月をかけてその場所の環境に適応したことで生まれました。例えば、国外や国内の他の地域から持ち込まれた外来種\*は、持ち込まれた地域の本来の生物多様性を脅かします。

### 生きものたちの現状と私たちがすべきこと

日本には7,000種を超える種子植物・シダ植物\*、1,000種を超える哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類がいますが、そのうちの4分の1以上が絶滅のおそれがある種とされ、危機的な状況にあります。

このように、地球規模で生物多様性は大きく損なわれつつあり、地球上の様々な地域で生物多様性保全の取組を広げることが必要です。



## 2 生物多様性から受けているたくさんの恵み

私たち人間は生物多様性からたくさんの恵みをもたらって生活をしています。例えば、水や食べ物、生活に必要な材料なども生物多様性からの恵みです。こうした恵みは生態系サービスとも呼ばれています。

### ①命を支える基盤（酸素の供給、水の循環、土壌の形成）

私たちの呼吸に必要な酸素は多様な植物の光合成によりつくられたものです。水は様々な形（固体、液体、気体）で生態系の中を循環することにより、多様な生きものの生存が可能になります。また栄養豊かな土壌は、生きものの死がいや落ち葉などが微生物によって分解されることでつくられたものです。



水元公園の水辺と樹林

### ②必需品の供給（食べ物、繊維、木材、医薬品）

私たちが食べている米や野菜、肉、衣類に使う絹や綿などの繊維、家の木材は、生きもの自体であったり、生きものがつくったものです。また、医薬品にも生きものからつくられたものがたくさんあります。



葛飾元気野菜

### ③豊かな文化の根源（地域ごとの食文化、工芸、芸能）

日本は、四方を豊かな海に囲まれ、南北に長く多様な気候と四季の変化がある国です。日本人は、変化のある豊かな自然と共生することで、地域に応じた食文化、工芸、芸能などを育んできました。



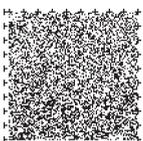
江戸刷毛

### ④安全安心の保障（災害の防止、水の浄化）

私たちの暮らしは、健全な生態系に守られています。例えば、多様で健全な森林は流域全体の洪水の防止などに役立っています。また、生きものは水をきれいにする役割も果たしています。



大場川のヨシ原



### 3 かつしか戦略で伝えたいこと

私たち人間も生きものの一員であり、人間も含めて全ての生きものがつながりあって生きていくことが重要です。近年、私たちは日々の暮らしの快適さや利便性を優先するあまり、生きものへの配慮が不足しています。その結果、知らず知らずのうちに生きものがすみにくい環境になってきました。

しかし、葛飾区にも水元公園、荒川や江戸川の河川敷など自然が残っている場所があります。これらの都市の自然は、原生の自然ではありませんが、身近な自然として重要なものであり、それらの自然を守り、より良くしていくことが必要です。さらに、今後は自然がなくなった場所においても生きものがすみやすい環境をよみがえらせ、つくり出すことが重要です。これらの取組は一見難しいように思えますが、私たち一人一人が自然に関心を持ち、皆で行動を起こせば、十分可能なことなのです。

葛飾区には、生物多様性の取組を行うにあたっての強みがあります。

- ・水元公園、荒川や江戸川、その河川敷などには多くの生きものが生息・生育しています。
- ・昔からの自治町会活動が今でも行われており、下町の人々のつながりが活動に活かされます。
- ・昔から在住され、かつての葛飾区の自然の状況をご存知の区民の方々の知恵や力を活動に活かされます。
- ・自然や河川への関心が高く、区民や地域団体の活動が活発です。

生物多様性を守るためには、これまでの大量の自然資源を消費してきた私たちのライフスタイルを生きものたちに配慮したものに変えていく必要がありますが、これは、持続可能でより健康的・文化的で豊かな区民生活を実現することにつながります。

身近な葛飾区の生物多様性を守る取組が推進されることにより、葛飾区内のみならず、東京都やひいては日本において生物多様性の保全の取組が広まるきっかけとなると考えます。

かつしか戦略は、より豊かな区民生活を実現するための生物多様性の保全に関する今後の取組の方向性を示し、区民、地域団体、事業者、葛飾区が連携・協働して生物多様性を守り、生態系をよみがえらせ、つくり出す行動を起こすための指針となるものです。



西水元水辺の公園自然再生区域



かつしかっこ探検隊

